

**【研究テーマ】****□ 旧制静岡高等学校関係資料の整理・展示**

キーワード：旧制静岡高等学校、静岡大学人文社会科学部・理学部、大学アーカイブズ

**プロジェクトの概要****社会連携へ向けたアピールポイント**

- ・1922年に設置され、翌年に開学した旧制静岡高等学校は、静岡大学人文社会科学部や理学部の前身に一つに当たります。静岡市大岩にあった旧制静岡高等学校の校舎(戦後は静岡大学文理学部として使用されました)はすでに取り壊されてしまいましたが、同校の事務や学生寮、校友会などに関する資料の多くは、現在も静岡大学人文社会科学部に所蔵されています。このプロジェクト(主管は静岡大学人文社会科学部大学アーカイブズ委員会)では、主に以下のような活動をこれまで行ってきました。
- ・資料の整理：貴重な資料を永く遺していくように、資料目録を作成しました(その概要については戸部健「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告」(『地域研究』創刊号、2010年)をご覧ください)。その上で、現在、各資料を中性紙封筒に入れる作業を継続しています。また、資料のなかには、写真も多く含まれています。プロジェクトではそうした写真をデジタル化し、利便性を高めました。
- ・資料の公開：資料の内容を広く知っていただくために、写真資料の一部、および『庶務課日誌』の一部を整理し、資料集として刊行しました(『旧制静岡高等学校関係写真目録』、『旧制静岡高等学校関係写真帳』、『静岡大学人文社会科学部所蔵旧制静岡高等学校・静岡大学大岩校舎関係写真帳』第1～3集、『旧制静岡高等学校 大正十二年庶務課日誌』『旧制静岡高等学校 大正十三年庶務課日誌』)。また、人文社会科学部A棟ロビーにて、年1、2回程度資料展示を行っています。さらに、資料の利用を希望された方々に対しては、申請いただいた上でこれまで個別に応じてきました。



詳細



食事を囲む旧制静高の教員と学生  
(1939年、旧制静高資料49-82-005)

**プロジェクトリーダー****貴田 潔**

学術院人文社会科学領域  
人間・社会系列  
准教授

**■ プロジェクトメンバー**

・貴田 潔 ・小二田 誠二 ・篠原 和大 ・戸部 健 ・藤井 真生  
・松本 和明 ・山岡 拓也

**■ 相談に応じられる関連分野**

・旧制静岡高等学校関係資料の利用

**4**質の高い教育を  
みんなに**11** 住み抜けられる  
まちづくりを**16** 平和と公正を  
すべての人に